

月橋会

恐れるものである。我等何をなすべきかを反覆反省する事が肝要であると思ふ。

又、国体は一つの農民運動である。如何にして農民の国体への関心を高めるかでなく、如何にして国体までにつに農民水準をあげるかが一つのポイントである。農業果といわれ、後進果といわれた本県ももはやこの言葉通りの姿ではない。しかし生活の規制的水準に於て環境の整備に於てやはり相當に遅れている事は否めぬな事を事実である。この本県を何等かの形で上昇させるには何をなすべきであろうか。

東京の真似でなく、秋田の模倣でなく、本県の地味についた農民生活の向上、農民運動の盛りあげは何をなすべきであろうか。

管理室より

○年末・年始の行事に賑わう

幸に本年は天候に恵まれ、当研究所体育館は連日大賑わいでありました。

二十三日 全市ボーイスカウト合同Xマス（集会人員、百五十名）

二十四日 昼は、ユースホテルXマスパーティー、

阿部芳郎

週二日（水、土）
（ハ）普通教室（但し運動不可）週二日（月、木）
前提条件（三）

み、中旬より根雪となり、二月中には二米を超え、雪消えは四月下旬(但し四月に入れば川沿えより漸次水を見る事が出来、何等かの形で練習可能)故十二月より三月に至る四か月間を訓練期間とす

(2) 下校の際の交通の困難さを考慮し、一日の練習時間は、一時間半を限度とし、天候によってはそれ以下で打ち切る場合もある。(三時より四時半まで)

夜は八星会Xマスバー
ー(六十名の集り)
二十五日 夜ボーイスカウ
ト父兄会
二十六日 体育民踊連盟並
に柏崎体操倶楽部合同X
マスバーデー
二十七日 ボーイスカウト
第五隊Xマス(父兄と共に)
三十日 健康体操会納会
(尚健康体操会は六月以
降一日も休まず)
三十一日 健康体操会有志
来館鍊養
三十七年一月一日
元朝体操会 集会者約六
十名
プログラム
一、駈歩(かけ声勇ましく)
二、開会の辞
三、君が代斉唱
四、挨拶
五、体操 1、健康体操
2、子供の体操 3、ラ
ジオ体操第二
六、レクリエーション
1、ゲーム 2、民踊
3、フォークダンス
七、体操 県民体操
八、一体一の歌斉唱
九、万才三唱 解散
二日 健康体操会鍊養始め
三日 ボーイスカウト新年

五日 柏崎体操倶楽部記念行事 1、記念録養（朝六時）2、記念総会（夜六時）

六日 昨日の体操倶楽部録養の状況をNHKローカルニュースに発表さる

七日 更にNHK安岡克巳氏来訪、坂田所長と対談録音

八日 体操倶楽部、健康体操会合同録養会。三宅正一代議士特に来会一同と録養を共にさる。

同日七時十五分、新潟放送局より、昨日の録音を「県民の時間」に放送さる。

夜は八星会踊り初め（四十名の集り）

◎当体育研究所建設費募金 頗る好調

旧臘より、ようやく本格的に各方面へ寄附御願いに参上して居ります、到る処一方ならぬ御好意を辱うし続々大口申込みを戴き、係員一同感激致して居ります。何卒絶大の御協力を仰ぎまして本研究所所期の目的を完成せしめられますよう偏に御願ひ申上げます。

はあるが、要するに指導者の多年の経験が一番物を言う事は言を俟たない。「無死もしくは一死で走者三塁の場合に上った外飛のアビールブレイ」の説明の如きも、規則書の解説に加うるに、昭和三十六年度都市大会、柏一中対高柳中の七回表の攻撃を引倒す事により一層明確に認識されるであらう。

(2) 基本技の理論的説明
この事の内容は極めて多岐複雑ではあるが、大凡次の如き段階がある。

(イ)「投、捕、打、走」等の個々のブレイの「より正しい型」の理論的説明。

即ち「投球に於ける正しい腕の動作」「捕球に於けるグロブの構え方」等々、極めて初步的な基本（非常に重要な事であり乍ら案外看過されている傾向がある）。

(ロ) 実際に即しての基本的動作の複合
例えば「打撃に於け

要とするものは「中学生の軟式野球」だと言ふ事である。市販されてゐるこの種の解説書の多くは硬式野球の、しかも相当高次の技術

それは、中学生程度では、軟球を右打者が右翼へプレスヒットする事が極めて困難であると言ふ確信からである。この事は右翼手の守備位置を常時浅くし、かもライン近くにし、三塁手、遊撃手の一塁送球の場合の一塁カバー(クッションボールでなくダイレクト)を

てしまった。……さて
投手はどうする？ 二
塁手は？」と問答を繰
り返す。

※そして、若し、この
事がシーズンに入って
六月中旬頃までに一応
実際ブレイの上にマス
ター出来るなら、郡市
大会には、或る程度の
「サインブレイ」と若
干の「トリックブレイ」

可能になるであらう。

私に嘗て「一死走者
三塁の危機」に次図の
如き守備をとらせた事
がある。



SS ○
□ ● 3 B
R
○ C

(1) 柏崎より遠く二〇軒の山間僻遠の地であり、地域の野球普及度は極めて低く、時に催される地区民の野球大会も草履ばき、首に手拭の域を出ない。

(2) 但し、最近のテレビの普及により、一応の理屈と演技は仲々のものものを持っている。

(3) 前述の事は、対象生徒に於ても同様であつて華麗巧緻なプレーの基礎となる基本技の修練の爲の血と汗の鍛練を全く知らない。

(4) 又、そうした伝統をも全く持っていない。

(5) 彼等の知っているものもののは、桑田のホームランであり、長島のランニングスロー、稲尾のスライダー、と言う断片的な影像であつて、それらのプレーが必要とされるその前のプレー。及びそれによつて生ずる次のプレーへのもの必然性、関連性が少し

も理解されていないのである。

(6) それのみか、野球その他のゲームを成立させる基本的なルールの把握すら極めてあやしい。

(7) 又、多少の知識があつても、それは殆んど文字を通してのものであつて、直接経験ではなない故極めて不十分なものである。(多少でも高次の、例えば高校生とか一般社会人のゲーム乃至練習する見る機会がないのだから)

(8) そして、将来と雖も、隣接の学校との僅か一度か二度の練習ゲームを以て全ての試合経験として都市大会の一本勝負にのぞまねばならないのである。

訓練(一) 廊下及び階段を使用する場合

(1) 柔軟性と強靱性の強化を目的とした徒手の体操各種(座臥、仰臥、二人組等工夫して多彩且つ能率的に)

(2) 短縄跳び運動
下肢筋の強化は勿論、各種の跳び方を指導する事により、腰を中心とした全身のバネ、巧緻性、持久性等の訓練としても極めて有効であり、又、肩と手首の強化にも効果甚大である事も看過出来ない。

(3) 階段の上下足距
(4) 各種のステップ運動
「うさぎ跳」「あひる歩き」「横ステップ」
「両、片脚跳」「脚交又跳」等 巧みに組み合わせる事により、筋強化と共にバランスとリズム感覚を附与し、きつと精妙なフットワークの基礎として役立つであらう。

(5) 尚週二回宛のこの訓練は天候にとらみ合せて適宜スキー訓練に変更する。(全員スキーを所持し、一応の基礎技術を持っているものとして)

(6) 而してその場合も、単

なる気分転換ではなく一定のノルマのもとに訓練すべきである。即ち、例えば大部分の者が滑降用スキー（縮具カンダヘ）を装用していたとしても、距離レスの型式を実施する事が望ましい。登攀は脚（就中股関節を中心に）滑降は、膝、足首を、そして平地は、肩、手首を強化し、しかも身体を通じて、強靱な肉体と精神力を鍛えあげてくれるであろう。

訓練(二) 普通教室を使用する場合

(1)「ルール」の講義

基本的なものから確実に把握させる。而してそれは常に実際の場合に直ちに役立つ様、単なる「規則書」の朗読ではなく、時には、分解し、図示し、或は複合して実際場面を想定して徹底を期す必要がある。神田順治氏の著書等は好ましい種本で

コースのミートポイントの位置移動」「ベースランニングに於けるオーバースタンプ走法と触塁の理論的解明」「各種のフットワーク」等々。

問題「右前方の打球に對して、守備する野手の第一歩の踏み出し脚は左右いずれの脚なりや、その理由は」と言つた調子。

(2) 連撃動作の基本

「挾殺プレーに於ける各野手の連撃動作」も「走者の位置及び人数」「アウト数」により複雑に変化するが、基本的な原則はある筈である。それ等を演釈し、歸納して理解を深める。この事は「打たれた長打の処理」についても同様であり図示したり、模型を用いたりして指導すれば仲々興味深い。

※尚こゝで特に注意したい事は、吾々が今必

ある。(柱一中チームが、このプレーにより危機を未然に防いだ好プレーを記憶している)

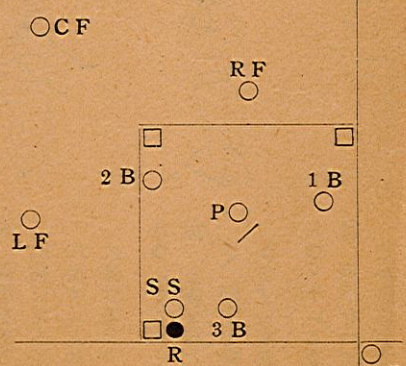
※現今巷に氾濫しているスポーツ誌の写真を切り抜き整理する事により立派な「基本技」の標本が出来る。全校生徒に呼びかけ(スポーツ誌の古本寄贈)集められた古本の一頁一頁を生徒と鉢と糊で整理して行く事も結構楽しい事である。

※又「連繫動作」については、重要な基本型(大体十種類位か?)を印刷し各自に配布し反覆指導して徹底を期さねばならない。そして機会ある毎に「一死走者二塁。打球は左翼手の頭上にグングンのびている……投手はどうする? 中堅手は? 遊撃手は? 一塁手は? 走者は? ……左翼手は遂に頭上を抜かれ

(3)「野球説話」の購読
飛田穂州氏の「魂の野球物語」をはじめとして大井広介氏、大和球士氏の「プロ物」等、傾聴すべき美談佳話の物語を味読する。輪読も面白い。最近と角マナ一の乱れが指摘される事は遺憾な事である。吾々は、あくまで教育としての野球を確立しなければならぬ。

(4)以上この訓練は、指導者の研究と熱意が全てを決定するものである事を銘記して周到な計画の下に実施さるべきである事を附記する。

(以下次号)



要とするものは「中学生の軟式野球」だと言う事である。市販されているこの種の解説書の多くは硬式野球の、しかも相当高次の技術

を持った者を対象として書いたものである。私は嘗て「一死走者三塁の危機」に次回の如き守備をとらせた事がある。



(以下次号)

③ 右足を引戻して左足に揃え、両手を左右から下して体前に低くチョンと一ツ拍手。
 二つて(12)……
 ④ ②の反対動作で上体少し右に向ける。
 木イ(34)……
 ⑤ 左足を引き戻して③と同様に拍手。
 三つの(12)……
 ⑥ 上体円心向きのまま、両手を右側にさし伸ばしながら右足を右側に前進(1)。続けて両手左側に振り流しながら左足を右足前方に交叉して前進(2)。
 四つ(34)……
 ⑦ 両手を振りながら右足前進、上体を進行方向に向ける。
 五つの(12)……
 ⑧ 上体を右に向けながら(輪の外向き)③の反対動作で前進。
 六つ(34)……
 ⑨ ⑦の反対動作で進行方向に向ける。
 七つの(12)……
 ⑩ 両手を胸の前から左右に開いて右足を左足の前に出す(上体を少し前方に傾ける)。
 八つ(34)……
 ⑪ 上体を起して右足を引き、両手を顔の前に高くかざす(掌外向き)。
 九つ・十(1234)……
 ⑫ 両手をかざしたまま右足から三步でその場に右まわり一周して円心に向く。

以上の動作を繰り返して踊ります。



(会田真一氏撮影)

全日本高校男子選手権
大会県代表、第十六回